

【資料4】

中山間地域ふるさと事業 について

埼玉県農林部
農業ビジネス支援課

中山間地域ふるさと事業の背景

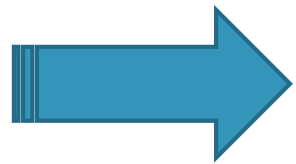
現状

- 高齢化する中山間集落（H27高齢化率 33.7%・全県24.6%）
- 人口減少の進行（H22 → H27 96.92%・全県101.00%）
（平成27年国勢調査）

課題

- 高齢化、人口減少により地域コミュニティの維持が困難
- 営農の継続、伝統文化の継承、耕作放棄地の増加等が懸念

これらの中山間地域が抱える課題に対応するために



「中山間地域ふるさと事業」を実施

中山間地域ふるさと事業とは

- ◆中山間地域が有する多面的機能の発揮と、地域住民活動の活性化を目的とする。
- ◆中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱(農林水産省)に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は6億9千万円。
- ◆事業主体は都道府県。
- ◆運用益と基金を取り崩して事業費としている。令和元年度当初予算額は約13,641千円。

中山間地域ふるさと事業の対象地域変更について

現在の県対象地域

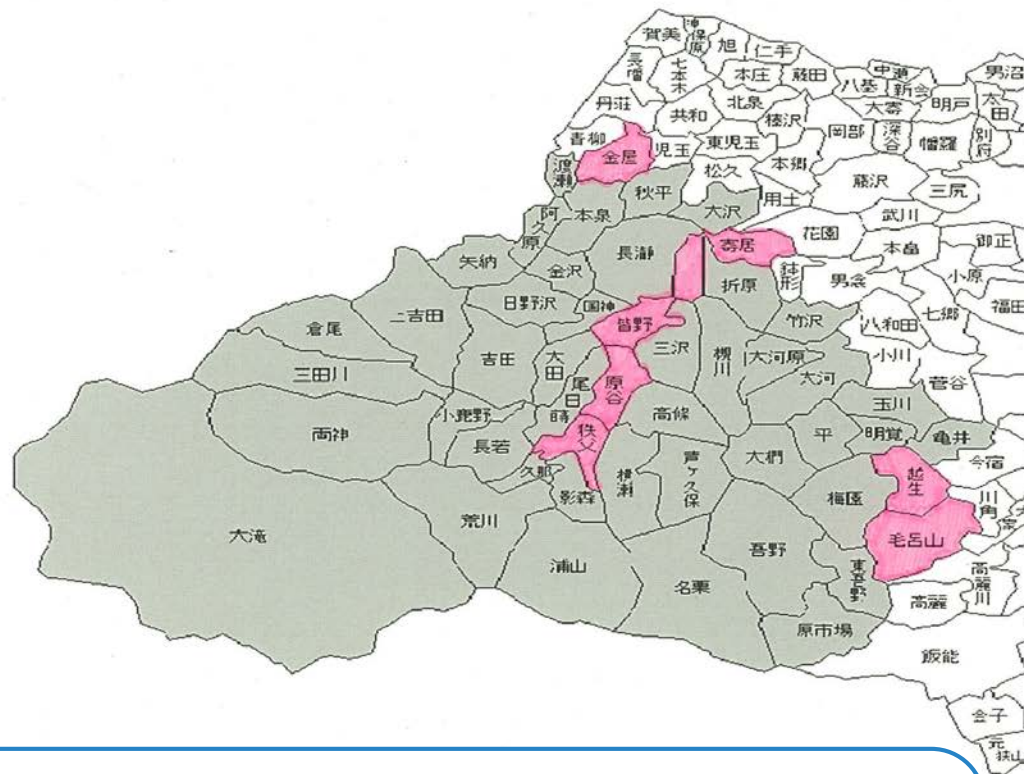
- ・地域振興3法における指定地域
- ・農林統計上の中山間地域(グレー地域)
→中山間直接支払制度認定地域より対象範囲が狭い。



今後の対象地域

- ・中山間地域等直接支払制度より認められている地域を追加(※図の赤い地域)

※赤い地域は国のガイドライン上、「地域振興8法上に地理的に接する地域」と規定されている。



事業の構成

1 調査研究事業

(平成30年度事業費：9,547千円)(令和元年度予算額：11,410千円)

- ・地域住民活動の活性化に係るワークショップ等の実施
- ・集落営農を確立するための新たな生産技術や鳥獣害対策の調査研究

2 研修事業

(平成30年度事業費：50千円)(令和元年度予算額：200千円)

- ・地域活性化に必要なリーダーとなる人材を育成するための研修会の実施

3 啓発推進事業

(平成30年度予事業費：1,132千円)(令和元年度予算額：2,031千円)

- ・中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動の実施

中山間地域ふるさと事業計画（H27～R1）

事業区分	事業名	計画期間 の事業量	単位	年度別事業量				
				H27	H28	H29	H30	R1
1 調査研究 事業	(1) 住民活動支援 (コンサルタント)	3	地区	1 (1)	(1)	1 (2)	(2)	1 (2)
	(2) 住民活動支援 (ふるさと支援隊)	新規 10	支援隊	2 (3)	2 (2)	2 (3)	2 (4)	2 (4)
	(3) 集落営農体制確立	10	課題	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
2 研修事業	集落リーダー育成 研修	新規 10	人	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
3 啓発推進 事業	(1) 啓発・普及活動	15	回	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	(2) 広報紙の配布	20	回	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (3)

※ () 外は平成26年度に作成した実施計画

() 内は令和元年度現在までの実施状況 6

コンサルタントによる支援

企業に委託して実施
1地区あたり200万円
を上限とする。

(平成30年度事業費：3,937千円)

(令和元年度予算額：4,000千円)

地域住民の話し合いや地域による都市農村交流イベントの実施により、農林業・農山村の多面的機能の良好な発揮を促進する。

小鹿野町 (H30～) 株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ



- ・小鹿野町産カボスの販売方法検討による販路拡大とカボスが地域に浸透するように町内飲食店や旅館業等と連携し、カボスを使用した新メニューを開発する。
- ・今年度1月10日からカボスを活用するイベントとして「黄金の雫祭」を開催している。

越生町 (R1～) 株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ



- ・越生町の特産物である「うめ」や「ゆず」を活用した地域活性化に向けた取組を行う。
- ・今年度は、主に関係者へのヒアリング調査とワークショップでの意見交換、最終的には来年度の計画策定を実施している。

ふるさと支援隊による支援

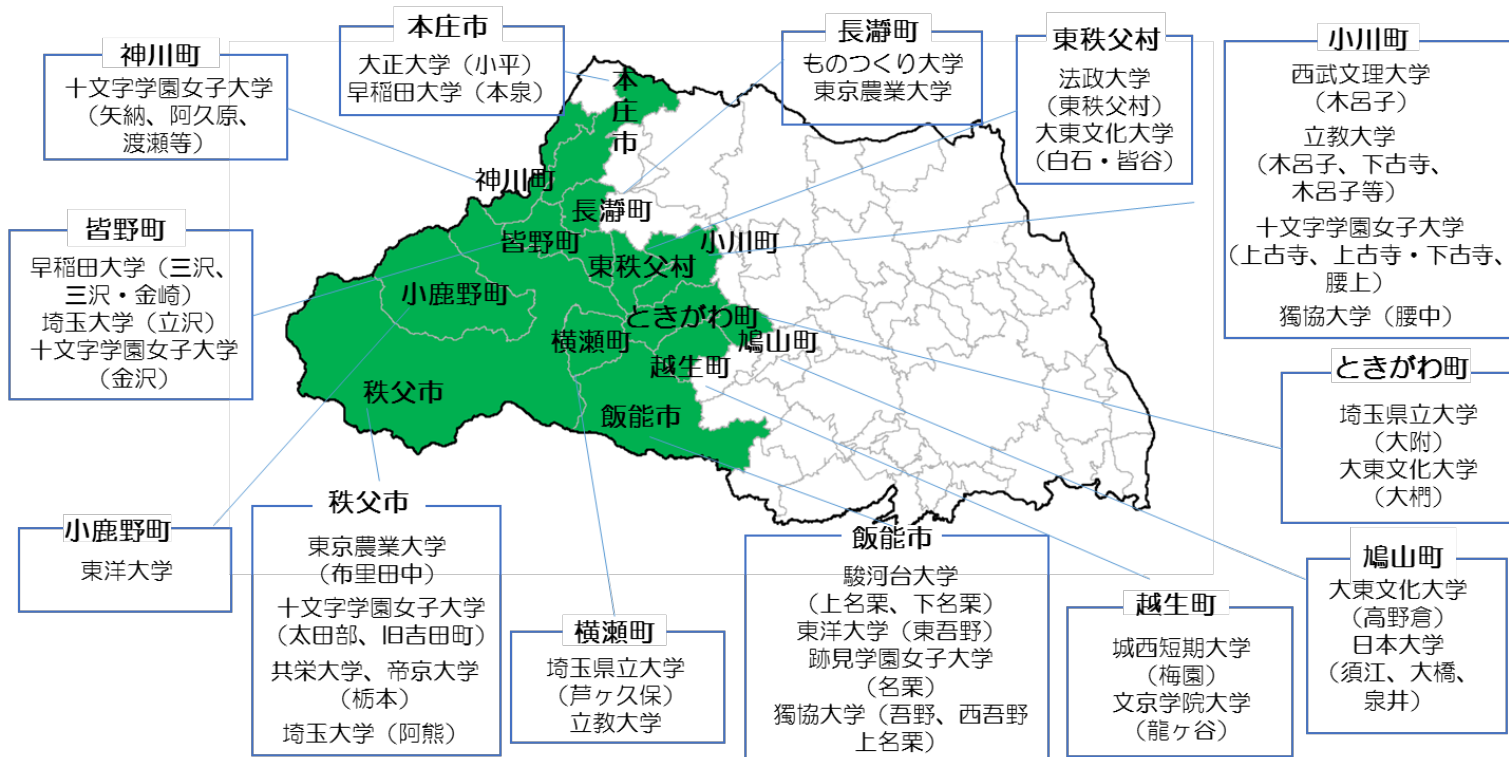
(平成30年度事業費：4,400千円)

(令和元年度予算額：5,600千円)

大学に委託して実施
1地区あたり50万円
(継続地区は40万円)
を上限とする。

大学生等の持つ新しい視点や行動力、専門技術・知識など「外からの力」を活用することによって、集落の活性化を図る。

平成22年度から延べ43支援隊が活動している。



令和元年度の実施状況
・計12支援隊が活動
(内訳)
継続8支援隊
新規4支援隊

1 調査研究事業 (2) 住民活動支援

ふるさと支援隊の活動 (R 1)

	大学名	市町村	対象集落	活動テーマ	責任者	継続/新規							
1	立教大学	小川町	原川、笠原、鞠負、木部、勝呂、木呂子、増尾、飯田	「自分ごと」として地域活性化を考える	空閑 厚樹	継続4年目	7	十文字学園女子大学	神川町 本庄市	渡瀬、下阿久原、上阿久原、矢納 本庄市全域	農業と地域資源を生かしたグリーンツーリズムの試み	星野 敦子	継続2年目
2	ものづくり大学	長瀬町	全域	長瀬町の観光に関する地域住民と来訪者のイメージギャップの可視化による観光資源活用方策の最適化	田尻 要	継続4年目	8	十文字学園女子大学	皆野町	金沢	地域文化の発見と交流 ～皆野町金沢地区における学生による工夫と創造～	狩野 浩二	継続2年目
3	早稲田大学	皆野町	三沢 金崎	多世代・多文化交流を基盤とした祭りによる地域活性化と健康創成	扇原 淳	継続3年目	9	東京農業大学	長瀬町	全域	地域の自然と向き合ってきた知恵の再発見	関岡 東生 山下 詠子	新規1年目
4	獨協大学	飯能市	西吾野	観光・地域資源の活用と支援並びに保存活動	高松 和幸	継続3年目	10	東洋大学	小鹿野町	全域	小鹿野町における地域資源を活かした観光ルートの企画	志摩 憲寿	新規1年目
5	駿河台大学	飯能市	下名栗	Hanno Happy Woody Project -木材を有効活用して観光まちづくり-	平井 純子	継続2年目	11	獨協大学	飯能市	上名栗	治山治水活動を通じたエコツーリズムによる地域振興	大竹 伸郎	新規1年目
6	立教大学	横瀬町	全域	若者参加による地域のにぎわいづくり	舩谷 鋭	継続2年目	12	日本大学	鳩山町	須江、大橋、泉井	地元農産品・観光資源による地域内活性化と都市部との人的交流推進	川出 真清	新規1年目

ふるさと支援隊の交流



「ふるさと支援隊」交流会（令和元年8月7日開催）

他の支援隊の活動内容を知り、活動の悩み等を解決し、今後の活動に活かすことを目的に開催。

(1) 第1部 活動報告

各支援隊がこれまでの活動内容や今年度の活動計画について発表。

(2) 第2部 情報交換

支援隊の交流を図るため、学生を9グループ、指導教員を2グループに分けて実施。

学生が現地での活動を経験した中で、感じたことを話してもらい、地域に対してどのようなアプローチが必要になるかを話合った。

※令和2年2月7日に活動報告会を実施する予定。

県農業技術研究センター等による支援

(平成30年度事業費：1,022千円)

(令和元年度予算額：1,260千円)

集落全体で取り組むべき新たな生産技術や鳥獣害対策等の調査研究を行い、農業生産の維持・拡大による中山間地域の活性化を図る。



鳥獣被害防止対策推進事業（700千円）

- ニホンザルの効果的被害対策の解明
- 新たな被害防止技術（柵）の開発
- 多獣種の被害を防ぐ安易で簡易な被害防止柵の開発普及
- 被害防止対策の啓発活動



秩父地域の風土を活かした茶の製造法の確立（560千円）

- 天候に左右されない紅茶萎凋技術の確立
- ティーポット用緑茶一煎パックの開発
- 紅茶品質の評価をする求評会の実施

ふるさとリーダー研修

(平成30年度事業費 : 50千円)

(令和元年度予算額 : 200千円)

中山間地域の活性化の推進及び助言等を行う人材を育成する。



<H30> 参加人数:25名
「地域活性化のための農泊事業を考える」
合同会社クライム 代表 金澤 三紀 氏

- ・農泊事業の概要
- ・農泊による地域活性化の取組について紹介(埼玉県滑川町)



<R1> 参加人数:14名
「埼玉における新しいグリーンツーリズムの提案」
埼玉県グリーン・ツーリズム推進協議会 理事長 毛塚 宏 氏

- ・埼玉県の大消費地に近く、自然が多い特徴を活かしたツーリズム(埼玉型グリーン・ツーリズム)の構築について説明。
- ・グループワークによる意見交換

中山間地域における取組の広報

(平成30年度事業費：1,132千円)

(令和元年度予算額：2,031千円)

中山間地域の持つ多面的機能の理解増進についての普及・啓発活動を実施する。

各種イベントでのPR活動

<R1>

- JR浦和駅において中山間地域の観光農業をPR
- 県庁オープンデーにて中山間地域の観光農業をPR
- 彩の国食と農林業ドリームフェスタにおいて埼玉県の中山間地域の農業をPR



広報誌の配付

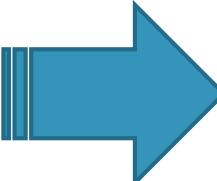
中山間地域の農村の魅力や活性化の取組を紹介する情報誌『新・田舎人』を配布

※ 年4回配布(6月、9月、12月、3月)

中山間地域ふるさと事業 5カ年計画の策定について

中山間地域ふるさと事業について

- ◆中山間地域ふるさと事業は、中山間ふるさと・水と土保全対策事業実施要綱に基づき、都道府県に基金を設置。埼玉県の積立額は6億9千万円。
- ◆国からの通知により、5カ年計画を定めることが求められている。
- ◆現在の5カ年計画は令和元年度が最終年度のため、次期5カ年計画の策定が必要。

 新たな5カ年計画（R2～R6）を策定する。

5カ年計画（国の様式）について

（別紙様式）

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業実施計画

（第〇回変更）

計画期間：2020年度～2024年度

計 画 内 容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標と評価
3. 事業計画（実績）

〇〇都道府県

※赤字部分は、道府県毎に記載内容が変わるもの。（記載イメージ）
※緑字部分は、事業実施計画に変更が生じた場合を想定。

5カ年計画（国の様式）について

1. 事業実施の基本方針

目標年度	2024年度
現状と課題	
事業実施の基本方針	
計画後の目指す姿	

2. 事業実施の成果目標と評価

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの目標値（実績値）					事業実績の評価			
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成度(%)	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針	
①												
②												
③												

※赤字部分は、道府県毎に記載内容が変わるもの。(記載イメージ)

※青字部分は、事業実施計画を策定した後に、毎年度、外部有識者(第三者委員会)による評価を受けることを想定したもの。

5カ年計画（国の様式）について

3. 事業計画（実績）

事業（取組）名	事業（取組）内容	関連する目標	事業実施要綱上の該当項目	年度ごとの参考事業量					総事業費
				2020年度 （事業費）	2021年度 （事業費）	2022年度 （事業費）	2023年度 （事業費）	2024年度 （事業費）	
普及・啓発事業									
地域リーダーの育成及び活動支援									
...									
参考事業費の合計				0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

※赤字部分は、道府県毎に記載内容が変わるもの。（記載イメージ）

※青字部分は、事業実施計画を策定した後に、毎年度、外部有識者（第三者委員会）による評価を受けることを想定したもの。

①現計画

5カ年計画（H27～R1）について

事業区分	事業名	計画期間 の事業量	単位	年度別事業量				
				H27	H28	H29	H30	R1
1 調査研究 事業	(1) 住民活動支援 (コンサルタント)	3	地区	1 (1)	(1)	1 (2)	(2)	1 (2)
	(2) 住民活動支援 (ふるさと支援隊)	新規 10	支援隊	2 (3)	2 (2)	2 (3)	2 (4)	2 (4)
	(3) 集落営農体制確立	10	課題	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
2 研修事業	集落リーダー育成 研修	新規 10	人	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	2 (2)
3 啓発推進 事業	(1) 啓発・普及活動	15	回	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	3 (3)
	(2) 広報紙の配布	20	回	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (4)	4 (3)

※ () 外は平成26年度に作成した実施計画
 () 内は令和元年度現在までの実施状況¹⁹

②次期計画

5 力年計画（R 2～R 6）について

事業区分	事業名	計画期間 の事業量	単位	年度別事業量				
				R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
1 調査研究 事業	(1) 住民活動支援	15	地区	3	3	3	3	3
	(2) 集落営農体制確立	10	課題	2	2	2	2	2
2 研修事業	研修会の開催	5	回	1	1	1	1	1
3 啓発推進 事業	(1) 啓発・普及活動	15	回	3	3	3	3	3
	(2) 広報紙の配布	20	回	4	4	4	4	4

現計画との変更点

①調査研究事業

- コンサルタントとふるさと支援隊の連携を図る。
- 新規で活動する支援隊に対して、地域との関わり方等の悩み相談ができるようなサポート体制を整える。

②研修、啓発推進事業

- 市町村が実施する研修・啓発活動に対して支援する。
- 他部局のイベントにも参加しながら中山間地域の農林業について広く周知を図る。

5カ年計画（国の様式）について

（別紙様式）

中山間ふるさと・水と土保全対策事業

事業実施計画

（第〇回変更）

計画期間：2020年度～2024年度

計 画 内 容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業実施の成果目標と評価
3. 事業計画（実績）

埼玉県

※赤字部分は、道府県毎に記載内容が変わるもの。（記載イメージ）
※緑字部分は、事業実施計画に変更が生じた場合を想定。

5カ年計画（国の様式）について

1. 事業実施の基本方針

目標年度	2024年度
現状と課題	本県の中山間地域は県土面積の約1/3、林野面積の85%を占めており、水源のかん養や大気の浄化、自然環境の保全など県民生活にとって欠くことのできない多面的機能を有している。これら多面的機能は、中山間地域に暮らす人々のためまい努力によって維持されている。しかし、中山間地域の多くは生活環境や産業基盤が平野部と比べて極めて不利な状況にあるため、人口の減少や高齢化が進行しており、農業をはじめ集落機能の維持に支障を来している。
事業実施の基本方針	中山間地域の有する多面的機能の恩恵は県民が広く享受するものであることから、県の5カ年計画である「希望・活躍・うるおいの埼玉」や農林部が策定する「埼玉県農林業・農山村振興ビジョン」との整合性を図りながら、多面的機能の保全に資する地域活動の支援、人材の育成、都市・農山村の交流などの取組を行うこととする。
計画後の目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域のコミュニティーが機能し、人々が明るく元気にいきいきと暮らしている ・集落機能を維持・活性化するための知識や経験を有するリーダーが育っている ・都市・農山村交流を通じて県民が中山間地域の有する多面的機能を理解している

2. 事業実施の成果目標と評価

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの目標値（実績値）					事業実績の評価		
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	達成度(%)	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針
① 企業や大学生と連携した中山間地域への支援	支援地域数 (地区)	10地区	15地区	3地区	6地区	9地区	12地区	15地区			
② 地域住民活動の活性化に関する研修会の開催	研修会開催数 (回)	5回	5回	1回	1回	1回	1回	1回			
③ 中山間地域の農業の紹介や多面的機能の理解増進のための啓発・普及	啓発・普及活動回数 (回)	15回	15回	3回	3回	3回	3回	3回			

5カ年計画（国の様式）について

3. 事業計画（実績）

事業（取組）名	事業（取組）内容	関連する目標	事業実施要綱上の該当項目	年度ごとの参考事業量					総事業費
				2020年度 （事業費）	2021年度 （事業費）	2022年度 （事業費）	2023年度 （事業費）	2024年度 （事業費）	
調査研究事業	個々の中山間地域が抱える諸問題を解決するため、企業や大学生の持つ新しい視点や専門知識などを活用するとともに、農林業や集落機能の維持・活性化、農業技術の確立を図るための調査研究を行う。 【取組案】 新規で活動する支援隊に対して、地域との関わり方等の悩み相談ができるようなサポート体制を整える。	①	第3-2-(1)	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000
研修事業	中山間地域の住民活動支援地区等において、地域住民が新たな取組みを行えるよう研修会を実施する。 【取組案】 市町村が企画・実施する研修・啓発活動等への支援	②	第3-2-(2)	300	300	300	300	300	1,500
啓発普及事業	都市住民に対して中山間地域の農林業について理解増進を図るため、中山間地域の農山村の持つ多面的機能の紹介や特産物の紹介を行う。 【取組案】 他部署のイベントにも参加しながら中山間地域の農林業について広く周知を図る。	③	第3-2-(3)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	7,500
参考事業費の合計				12,800 (0)	12,800 (0)	12,800 (0)	12,800 (0)	12,800 (0)	64,000 (0)

